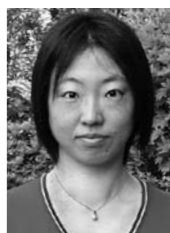


学びは常に玉川の丘に用意されています。  
通信教育部で学んだ先輩を中心に、現在の仕事や地域での活躍をインタビューします。

# 生涯学へ第4回 地域に根ざす公共図書館司書



郷野目香織 山形県新庄市立図書館主任司書  
04年通信教育部で司書資格取得・06年修士学位取得

## 2007

司書資格を取得後、さらに2年間通信教育部で学び、学士(教育)の学位を取った。大学卒業式の日、指導教官の河西由美子通信教育部教授と



図書館司書というと、カウンターに座って貸し出しをしたり、静かに本を読んでいるようなイメージがありますが、実際は毎日、汗を流しながらの力仕事。返却された本を書架で整理していると、利用者のニーズがわかるし、何かと質問されることも多いので、常に館内を見回ることを心がけています。

新庄市立図書館に勤めたのは二〇〇二年四月からで、最初は一日四時間のパート勤務。もともと本は大好きでしたが、司書資格は持っていませんでした。でも働き始めると、何て楽しい仕事なんだろうと目覚めてしまっていました。

短大時代にも司書資格は取れたのに、図書館への就職は難しいと言わ

## 2008

家が遠くてふだん図書館に来られない小学生たちが、バスで来てくれた。子どもたちは自分の利用カードを作り、初めて本を借りた



## 2010

毎年8月に図書館の庭園で開催する「こども夏のつどい」。読み聞かせのグループが大型紙芝居や絵巻絵本などを披露。願いごとを書き、短冊をつくる



ださいました。新庄の図書館で調べられなければ県立図書館に頼んだり、最終的には国立国会図書館に調査依頼することもあります。一方、難しいのは郷土に関するレファレンスです。「祖父が新庄出身なので、自分のルーツを知りたい」と他県から来られた方は、結局、電話帳を調べて帰られた。でも、もっと知識があれば何か資料も見つかったかもしれないと、郷土史の知識を

## 2011

本と向き合うだけでなく、本を通して人と向き合う。それが司書の仕事の本質ではないかと思えます。

より深めたいと思いました。

実はこの図書館は、新庄藩の藩政時代の武家屋敷の跡地にあり、庭園はその時代のまま。樹齢三五〇年のカヤの木があり、毎年、秋の「図書館まつり」ではカヤの実で細工作りを行い、親子連れでにぎわいます。蔵書は約一三万冊、一日平均三〇〇人ほど来館します。地域に密着して絵本の読み聞かせやおはなし会、乳児向けの絵本をお母さんに紹介する活動もしています。月一度、小学校や保育所、高齢者の施設を訪問する移動図書館も好評。読み聞かせや



乳幼児と保護者対象の「ブックくんおはなしクラブ」では絵本を通じてコミュニケーションを図る。司書は手遊び指導も

れて諦めたのです。でも、この仕事を長く続けていくためには司書資格を取ることに始めようと思い、玉川の通信教育部へ入学しました。図書館での仕事を続けながら、夏期スクーリングの一週間だけ休んで、山形から上京。大学図書館でレファレンス(参考調査業務)の実習をしたり、分類目録の書き方など、基礎をしっかりと学びました。二年間で司書資格を取得してからも、資格は気持ちの上でも知識としても大きな支えとなりましたね。

司書の主な仕事は、本の貸し出しと返却、図書資料の選定と整理。さらに利用者から調べたいことを相談されたとき、的確な資料を探すお手伝いをするレファレンスです。公共

本の修理などの活動は、図書館ボランティアアさんに支えられています。さらに図書館の役割を意識したのは、三月の東日本大震災後でした。三日間の臨時休館中に職員で話し合ったのは、地域の方に役立つ情報を提供すること。特設コーナーを作つて、岩手、宮城、福島の電話帳を置き、救急処置や保存食の料理本など、災害時に必要な本を揃えました。

ある男性は高校進学を控えた息子さんのために教科書を探しに来られ、「被災して新庄へ避難してきたので何も持って来なかったが、勉強させてやりたい」と。高校の教科書は置

いてないけれど、「ここで勉強もできますし、辞書もあります」と副館長がお話すると、涙ぐまれて……。来館される方とのコミュニケーションの大切さを実感しました。図書館に勤めて、今年で一〇年目。もともと内気なタイプだったので、最初は自分のできるか不安でした。でも、実際に利用者の方と接するなかで、社会人として成長させていだいた。今も一番楽しいのは、本を探している方にピタッと当てはまるものをお渡しできたとき。笑顔で「ありがとう」といわれるときが何より嬉しいですね。

### 図書館は本の貸し借りだけじゃない

日本の図書館法によると、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」。図書館の種類は、国立図書館(国立国会図書館)、公共図書館(公立図書館+私立図書館)、大学図書館、学校図書館、専門図書館、その他の施設に設置される図書館に分けられる。公共図書館数の内訳と来館者数は下表の通り(日本図書館協会・2010年集計)。

	都道府県立	市区立	町村立	広域市町村圏	私立	合計
図書館数	62	2,526	587	1	20	3,196
来館者数(千人)	19,344	248,276	22,158	190	111	290,079

### 司書は、資料と利用者の架け橋

司書とは、図書館で、図書の選択、発注および受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う司書資格を持つ専門的職員で、資料と利用者をつ結びつける役割を果たす。地域との連携ではイベントなどの企画力が問われる場面がたくさんある。

